

GX：最近では、脱炭素に加えて、生物多様性も重要とされています。昨年12月下旬には、国連の「COP15」において、「30 by 30(2030年までに世界全体で陸地と海のそれぞれ30%以上を保全地域にする)」などが採択され、生物多様性の確保に向けた世界的な枠組みが決定されました。

環境政策課 ☎(584)4691 📠(584)4818

ふるさとの水辺を守る 会社のおはなし

市内で環境保全の先進的な取り組みをしている事業所取材しました。

旭化成株式会社 守山製造所
環境保全グループ
わたなべ ともり
渡邊 共則さん



製造所の敷地にビオトープがあります



製造所入り口の看板



いきもの調査



ビオトープでの自然観察会

環境に配慮した先進技術

旭化成株式会社は、「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献する」というグループミッションを掲げ、カーボンニュートラルへの取り組みを加速しつつ、さまざまな技術や製品を提供する総合化学メーカーです。

実は、身の回りにある、いろいろな製品にその技術が生かされているので、見えないだけで人びとの暮らしと深くつながっています。

歴史的な背景

小島町は市内でもおいしいお米の産地で、その昔、地元住民は「丸坪の池」という湧水池を水源として農業用水をひいていました。

この地に現在の守山製造所を市が誘致する際に、市・企業・地元住民の話し合いがもたれ「旭化成は地域にきれいな水を供給する」という約束をしました。

それから今日にいたるまで、国が定めるよりずっと厳しい水質基準で地域に供給するきれいな水は、農業用水としてだけではなく、里中の水路を流れて水辺の景観や生物多様性を守っています。

未来への強い思い

旭化成は、環境に対する意識が高い企業ですが、守山製造所はこうした背景から特に「きれいな水」への思いが強いのです。それは、「きれいな水」が地域との信頼関係の根幹であり、グループビジョンの「環境との共生」の実現の証であると考えているからです。

昔から里中を流れる川とともに暮らし、水辺の美しさを誇りとしている地域との信頼関係が礎にあって、生き物の保全のため敷地内にビオトープを整備するまでに発展しました。

ビオトープでは、絶滅危惧種のハリヨや、環境の良し悪しのものさしとなるトンボの保全に加え、観察会なども開催しています。

※写真撮影時のみマスクを外していただきました。

環境学習 イベント情報

中高生による動画発表会

🕒3月12日(日)午後1時～3時

📍もりやまエコパーク交流拠点施設 環境学習室

📄中高生が市内の環境活動取材して制作した動画の発表

👥定30人

💰無料

📄右記二次元コードから申し込み。



申込フォーム

親子で楽しくエコな暮らし体験

🕒3月12日(日)、22日(水)、29日(水)

午前10時～午後1時30分(同内容)

📍もりやまエコパーク交流拠点施設

野外およびキッチンスペース

📄プランター畑の世話と収穫、野菜を使った料理、生ごみコンポスト体験、野外遊びの見守り

👨👩未就学児のいる家族

💰¥200～300円程度

📄他申込不要



ホームページ